

第3回事例研究

「自治体現場の最前線に学ぶ」

高齢社会のまちづくり・人に優しい交通を考える

～ 武蔵野市のコミュニティバス「ムーバス」の取り組み～

1. 講師 武蔵野市都市整備部交通対策課長 中村 永司さん
2. 対象者 市町村職員で希望するもの 事例紹介：定員100名
意見交換：20名程度
事例紹介は講演会形式で行います。
意見交換は事前申込み者を対象に、場所を移して実施します。
3. 実施日 平成15年8月22日（金） 事例紹介：午後2時～3時30分まで
意見交換：午後3時45分～5時まで
4. 会場 （財）大阪府市町村振興協会マッセ OSAKA 5階
事例紹介：第2研修室
意見交換：第3研修室
5. 内容
武蔵野市では、住宅地内における交通不便地域を解消し、高齢者など全ての人が気軽に安全にまちに出られるよう、住宅地内を走る小型近距離バス「ムーバス」を整備しました。
「ムーバス」の取り組みは、全国のコミュニティバス波及の先駆けともなり、また、採算面においても黒字経営が実現されるなど、行政と地域住民、民間事業者の協力による公共交通への試みとして成果をあげています。
今回の講演では、単なる交通政策としてではなく、福祉政策も含めた総合行政として取組まれている「ムーバス」について、その導入の背景や、実際に導入するにあたっての課題や対応など、その実現にいたるまでのプロセスを中心にお話をいただきます。
6. 申込み方法
お申込みは各市町村研修担当課にお願いします。
(担当：マッセ O S A K A 研究課)